

第4章 第7回国際ベトナム学会議報告

The 7th International conference on Vietnamese Studies

柳澤雅之

はじめに

2025 年、第 7 回国際ベトナム学会議がハノイで開催された。4 年に一度開催される、ベトナムを対象にしたベトナム学の国際学術会議である。第 7 回にあたる今回の会議では、7 つのセッションが同時並行して実施された。また、各セッションでやや異なるが、9 月の予備会議と 10 月の本会議が開催された。

第 7 回国際ベトナム学会議の第 1 セッションは、ハノイ国家大学ベトナム学研究所が主催した。テーマは“*Nghiên cứu và đào tạo Việt Nam học: Tiếp cận chuyên ngành và liên ngành* Research and Training in Vietnamese Studies: Disciplinary and Interdisciplinary Approaches”であった。バックコック研究チームからは、小川有子と柳澤雅之が参加した。

9 月の予備会議では、論文（英語）を提出し、かつ、ハノイで口頭発表（ベトナム語）を行った。口頭発表は、オンラインと併用のハイブリッド形式であり、バックコック研究のうち社会経済変容に関する報告は柳澤が、オンラインで口頭発表した。小川は祭礼・儀礼の復興に関するベトナム語論文を提出した。予備会議で提出した英語論文は、以下のように、ベトナムにて出版された。

Yanagisawa, M. 2024. “How Can A Village Study Contribute to the Vietnamese Studies: From An Interdisciplinary Village Study at Lang Bach Coc in the Red River Delta, Vietnam,” *Nghiên cứu và đào tạo Việt Nam học: Những vấn đề lý luận và thực tiễn (Research and training in Vietnamese studies: Theoretical and practical issues)*. NHÀ XUẤT BẢN ĐẠI HỌC QUỐC GIA HÀ NỘI. pp. 188-203. ISBN: 978-604-43-3388-5.

10 月の本会議では、バックコック研究の発表をする柳澤がキーノートスピーカーとして招待され、ベトナム語論文の提出と、口頭発表（ベトナム語）を行った。

本会議ののち、総勢 1000 名を越える参加者の中から、柳澤を含む 30 名が、Tô Lâm ベトナム共産党書記長を表敬訪問した。学術的成果を社会に還元しようとするベトナム政府の意図を強く反映していると考えられた。

本稿では、小川が予備会議に提出したベトナム語論文と、柳澤が本会議で提出したベトナム語論文を掲載する。